

恵みの契約のしるし

13
(火)

雲に虹が現れるとき、私はそれを見て、神と地上のすべての肉なるあらゆる生き物との永遠の契約を思い起こす。(16)

大洪水の後、地上に再び降り立ったノアに対して、二度と洪水によって地を滅ぼすことはしないと主は約束され、その契約のしるしとして雲の中に虹を見せてくださいました。しかも、今日の聖句にあるように、神はそれをご自分のためのしるしとすると言われたのです。まるで神が自戒しておられるかのようです。神が洪水をもって地を滅ぼされたのは、人間の罪のゆえの当然の審きでした。それなのに今、神は「もう二度と同じことはしない」と自戒しておられるかのようです。たとえ私たちがこの契約を忘れるようなことがあっても、神は決して忘れないと言われるのです。どこまでも深い、神の憐れみによる一方的な契約でした。空に虹がかかるとき、私たちは神の恵みの契約を思い出そうではありませんか。私たちをどこまでも救おうとされる神の契約、キリストによる恵みの契約を。